

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 4日(火)・11日(火)
- 2歳6カ月以上 18日(火)・25日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 6日(木)・13日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 20日(木)・27日(木)

★ツインズ・デー 14日(金)

★マタニティおしゃべり広場 3日(月)

★子育てサロンの日 11日(火)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

市子育て支援センター(はまなす保育所内☎・FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 7日(金)・21日(金)
- 1歳半～2歳 14日(金)・28日(金)
- 2歳～2歳半 5日(水)・19日(水)
- 2歳半～3歳 12日(水)・26日(水)
- 3歳～3歳半 4日(火)・18日(火)
- 3歳半以上 11日(火)・25日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

中央児童館(☎・FAX23-7406)

★児童館七夕まつり

8日(土)午前10時～11時30分 「星にねがいを」ブラックシアター

対象：小学生以下親子 費用無料、申し込み不要

★おにいさん・おねえさんと遊ぼう会(ジュニアリーダー)

25日(火)、30日(日) 午前10時30分～11時30分

対象：小学生のみ 費用無料、申し込み不要

★にこにこ教室(親子で遊ぼう)

26日(水) 午前10時30分～11時30分

対象：未就学児親子 費用無料、申し込み不用

河北子育て支援センター(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

子育て支援センターにきて親子で楽しく遊んだり保護者同士で子育てについて話し合ったりしてみませんか？

3日(月) 笹飾り作り 5日(水) 七夕会

6日(木) すこやか親子クッキング

※この他にも、月・水・木曜日に楽しい遊びを用意しています。遊びに来てね!! (利用時間は、午前10時～11時30分)

★子育てひろば 地域に出向いています

<今月の予定> (時間は午前10時～11時30分)

4日(火) 針岡・間垣・釜谷・長面・尾の崎 (大川保育所)

11日(火) 福地・横川・谷地 (大川保育所)

21日(金) 大谷地全地区 (大谷地保育所)

各地区の保育所をお借りして、水遊びやプールでの遊びを紹介し、多くの方の参加をお待ちしています。

(参加申し込みは、保健推進員または河北子育て支援センターまでお願いします)

河南子育て支援センターパプラ(☎・FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子

4日(火) サロントーキング 11日(火) 絵本の読み聞かせ
18日(火) おり姫ひこ星ゲーム 25日(火) じょうろをつくろう

● 2歳以上親子

6日(木) スクエア七夕わいわいクッキング
13日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
20日(木) おり姫ひこ星ゲーム
27日(木) じょうろをつくろう



親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談・・・ひとりで悩まないで!(月～金)

★サークル活動支援(月・水・金曜日)

★わいわい七夕クッキングのご案内

6日(木) 午前9時45分受付開始 ところ 遊楽館(調理室)

内容 七夕ちらし寿司、かぼちゃスープ、フルーツポンチ
参加費 1家族 500円 ※吾子の会の託児あり!

持ち物 エプロン・三角巾・おしぼり 定員 20組〔先着〕

●申込方法

パプラに会費を添えて、7月5日(水)まで申し込み

★さつまいも畑オーナーの皆さんへお知らせ

2回目の草取りを7月30日(日)午後4時から5時まで行いますので、旭山農業体験実習館の農園にお集まりください。月に1度の草取りは、大きなさつまいもを収穫する上で、大切なことです。当日、都合の悪い家庭は、他の日に草取りをしましょう。3回目は9月10日(日)です。

桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター 12日(水)、26日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 檜崎分館 とき 25日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 11日(火) ☎76-3360

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区ひまわり子育て支援

★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

ところ 北上保健センター(☎67-2301)

5日(水)、12日(水)、19日(水)

子育てアドバイス ★★★★★

絵本だ～い好き!

石巻市立前谷地保育所 所長 千葉 幸子

絵本は、保育所生活や家庭生活を豊かにしてくれるとても頼もしい存在です。大好きな絵本を手にとると、子ども達や仲間との思い出がよみがえり、幸せな気持ちになります。絵本から、ごっこ遊びや劇遊びが生まれ、遊びの世界の広がりや奥深さを感じる場面にもたくさん出会いました。

子ども達に絵本を読んであげる時のポイントを紹介します。

1. 絵本は“楽しみ”そのものです…心に残る絵本に出会うことで本好きになります。
2. 絵本は、大人が子どもに読んであげる本です…お話を共有することで心が通じ合い絆が生まれます。

3. 子どもが大好きな絵本は繰り返し読んであげてください…

本の中へ入り込み楽しみながらたくさん発見をしています。

4. 絵本は読みっぱなしでいいのです…喜びや、感動、満足感が大切です。

ひざの上に抱っこして静かに絵本を開くと、親と子の心が自然に寄り添い通じ合い、親子の絆が深まっていくなんて、素敵な事だと思いませんか?その心地よさは、大人になっても心の中で生き続けています。

お子さんに読んであげたい絵本が判らないときは、先生に相談したり、絵本の最後にある「第0刷」を見てください。増刷回数が多いのは、子ども達に読んであげたい絵本として愛され続けてきているのでおすすめです。「絵本だ～い好き!」そんな子どもに育ててほしいですね。

表紙から

6月12日、中津山第二小学校でNHK仙台放送局の地震防災キャンペーンとして地震防災教室が行われました。放送中継車の公開やカメラマン、アナウンサーの体験などに興味津々でした。災害時の情報伝達方法について真剣に耳を傾けていました。(シュウ)

編集後記

今年から広報担当になり、今号に自分の書いた文章が載ることになりました。文章はもちろんですが、写真撮影は意外に難しく、撮った画像をパソコンに映し出すとどれもイマイチ…。楽しい日報作りのため、研究の日です。(千)

石巻の人口と世帯数

平成18年6月1日現在
()内は昨年同月比



※3月末の人口と世帯数に修正があります。詳しくは18ページをご覧ください。

⑩ 少数派大正の近代建築

石巻市文化財保護委員 川名 紘一

近代とは、明治元年から昭和二十五年頃までの約八十年間をさします。日本の西洋建築は、文明開化とともに、先ず「擬洋風」と呼ぶ洋風とも和風ともつかない建物が姿を現します。その後、ヨーロッパ直伝の石造ないし煉瓦造が現れます。そして、明治政府は、パリ、ロンドンに負けない東京を作るために、ようやく近代建築が始まりました。近代建築とは、鉄とガラスとコンクリートという工業製品を主材料とする近代技術建築を言います。



『石巻の歴史』の文中に「石巻の近代化の変遷を、具体的に示す建築はまことに少ない」とあります。そのなかでも、特に少ない大正建築は、中央三丁目の第二SSビル(既で紹介済み)、石巻高校の図書館です。木造では、泉町の山城町教会等があります。SSビルは大正十四年に竣工、誰の目にも分かりやすい石造風です。山城町教会は大正十二年に竣工、会堂は矩形平面でシンプル

な木造平屋建です。そして、石巻高校の図書館は八十年の歴史をもつて、この七月に解体撤去されることになりました。この建物は、旧制石巻中学校の講堂として、大正十五年十月に竣工しました。やがて高校に昇格し、図書館に転用され、最近では吹奏楽部に利用される程度になっていました。凡庸なキャンパス(校庭ながら、創設以来の生徒や教師によって培われた鰯陵にあつて、この大正建築は県下の高校に誇れる、最高のランドスケープをもつものでありました。若干の手直しはなされただけで、痛々しいが八十年の星霜を留めて十分に美しい建物です。この図書館は、同校三回生の高橋英吉の大作「聖観音立像」を安座し、二度の火災にも見舞われましたが難を逃れました。外観は柱を太く見せ、垂直性を強調しています。また、柱頭飾や細部にルネッサンス式、その他の装飾を適当に付しています。内部はスタティック(静的)な表現で、天井全面に洗練された彫刻模様は、実に見応えがあります。躯体は鉄筋コンクリート造、屋根は鉄骨洋風トラスの寄棟造です。人間にたとえると一見脆弱に映るも、強靱な背骨がすわっていることを、この度の調査で感じました。

伝統校には、必ず象徴的な建物が存在します。文化財のある学園を享受する利点を失うことによって、この無形の力を持つ図書館の存在価値が改めて認識されるでしょう。

「時代の波に洗われ、街の中のかなつかしい風景や貴重な文化遺産がいつの間にか消えていく。残したくても少数の熱意や努力だけでは、次の世代に伝えられないことがあります。」(「朝日新聞」より引用)

健康「コラム」

「かかりつけ病院」としての取り組み



市立雄勝病院 看護師長 末永三和子

住み慣れた町で充実した医療を受けたい、という地域住民の皆さんの、期待に応えるべく、私たち看護職員を始め、職員一丸となり日々地域医療に携わっています。

雄勝地区は若年層の転出、出生率の低下などにより、高齢化が進んでいて、加齢・体力の低下による慢性疾患を抱える患者さんが日々外来診察に通院していらっしゃると思います。

通院が困難な患者さんのためには、在宅医療として、医師による訪問診療・訪問看護・訪問薬剤指導などの在宅医療サービスも実施しています。

また、在宅患者さんが自宅などで容態に変化があった場合には、平日・休日を問わず常勤医師あるいは当直医師による、診療の受け入れを行い、患者さんが

「いつでも安心」できる体制の確保に努めています。

最近の事例として、「身寄りのいない高齢者」の入院受け入れに伴う様々な問題が私たち看護職員の、懸かりです。具体的には、帰る場所のない高齢患者さんの「社会的入院」生活保護費などの金銭管理など、本来の看護業務に加え、患者さんからの要望が多くなってきました。

常に、私たち看護職員は患者さんへ思いやりをモットーに活動を続けて行きながら、信頼を得る「かかりつけ病院」の一員として、医師の先生方・医療技術スタッフ・事務部門との役割分担・相互協力を以って、これからも地域医療に貢献して参ります。

